

4 米

(1) 国際的な米需給の概要（詳細は右表を参照）

（米国農務省（USDA）の見通し）

【生産量】 2016/17年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

生産量は、インド、タイ等で前年度より増加することから、世界全体では増加し、史上最高の480.7百万トンとなる見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体でわずかに上方修正された。

【消費量】 2016/17年度 前年度比 ↑ 前月比 ↓

消費量は、中国等で前年度より減少するものの、タイ等で増加することから、世界全体では増加し、史上最高の480.4百万トンとなる見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で下方修正された。

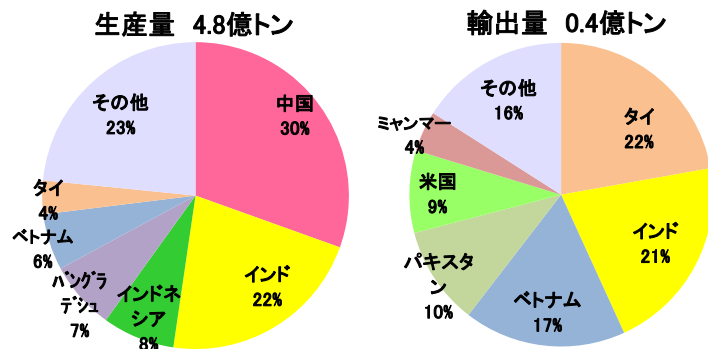
【貿易量】 2016/17年度 前年度比 ↓ 前月比 ↓

世界全体の貿易量は、前年度より減少し、40.5百万トンとなる見込み。
 国別には、輸出国では、米国等で増加し、タイ等で減少する見込み。輸入国では、イラン等で増加し、インドネシア等で減少する見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で下方修正され、輸出国ではミャンマーで下方修正、米国でわずかに下方修正された。

【期末在庫量】 2016/17年度 前年度比 ↑ 前月比 ↑

期末在庫量は、前年度より増加し、107.0百万トンとなる見込み。
 国別には、中国、フィリピン、韓国で在庫が積み増しされるものの、タイ、インド、日本、インドネシアで在庫が取り崩される見込み。世界全体の期末在庫率は、22.3%と前年度より上昇する見込み。
 なお、前月からの予測の改訂は、世界全体で上方修正され、国別には、インドで上方修正、フィリピンで下方修正された。

図－1 世界の米のシェア（2016/17年度）



表－1 世界の米需給（米国農務省）

（単位：百万精米トン）

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予 測 値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生 産 量	478.7	470.9	480.7	0.0	2.1
中国	144.6	145.8	146.5	-	0.5
インド	105.5	103.5	105.0	-	1.4
インドネシア	35.6	35.3	36.6	-	3.7
バングラデシュ	34.5	34.5	34.6	-	0.1
ベトナム	28.2	28.1	28.5	-	1.4
タイ	18.8	15.8	17.0	-	7.6
ミャンマー	12.6	12.2	12.5	-	2.5
消 費 量	478.7	478.7	480.4	▲ 0.1	0.4
中国	144.5	146.0	145.0	-	▲ 0.7
インド	98.2	98.5	98.6	-	0.1
インドネシア	38.3	38.1	38.1	-	-
バングラデシュ	35.1	35.2	35.3	-	0.3
ベトナム	22.0	21.9	21.8	-	▲ 0.2
フィリピン	13.2	13.2	13.3	-	0.8
タイ	10.6	10.8	11.1	-	2.8
貿 易 量 (輸出)	44.0	41.3	40.5	▲ 0.1	▲ 1.7
インド	12.2	9.0	8.5	-	▲ 5.6
タイ	9.8	9.8	9.0	-	▲ 8.2
ベトナム	6.6	7.0	7.0	-	-
パキスタン	4.0	4.4	4.3	-	▲ 3.4
米国	3.2	3.2	3.6	▲ 0.0	10.9
ミャンマー	1.7	1.7	1.8	▲ 0.1	6.1
カンボジア	1.2	0.9	1.1	-	16.7
(輸入)					
中国	4.7	5.0	5.0	-	-
ナイジェリア	3.0	2.5	2.1	-	▲ 16.0
フィリピン	1.8	1.6	1.5	-	▲ 6.3
EU	1.7	1.6	1.6	-	-
インドネシア	1.2	2.0	1.3	-	▲ 37.5
サウジアラビア	1.4	1.5	1.5	-	3.4
イラン	1.4	1.4	1.5	-	3.6
期 末 在 庫 量	114.4	106.6	107.0	0.3	0.3
中国	57.4	61.9	68.1	-	10.0
インド	17.8	13.8	11.7	0.5	▲ 15.3
タイ	10.6	6.1	3.2	-	▲ 47.0
インドネシア	4.0	3.2	2.9	-	▲ 7.9
日本	2.8	2.5	2.1	-	▲ 16.1
フィリピン	2.2	2.0	2.2	▲ 0.4	10.2
韓国	1.3	1.7	1.7	-	4.2
期 末 在 庫 率	23.9%	22.3%	22.3%	0.1	▲ 0.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
 「Grain: World Markets and Trade」、
 「PS&D」(10 June 2016)

(2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

ア インド

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収がいずれも増加することから、前年度より増加し、105.0百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、98.6百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、8.5百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率も10.9%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2015/16年度の生産量、期末在庫量で上方修正された。結果として、期末在庫量が上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会（IGC）「Grain Market Report」（2016.5.26）によれば、2015年のモンスーンの降水量は期待を大きく下回ったため、2015/16年度の実生産量は、作付面積及び単収の減少から103.6百万トン（2014/15年度105.5百万トン）となる見込み。2016/17年度の実生産量については、6月初旬にインド南西部に到来するモンスーンの降水量が平年を上回ると見られることから、作付面積及び単収は上昇し、生産量は増加する見込み。

イ タイ

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収がいずれも増加することから、前年度より増加し、17.0百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、11.1百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、9.0百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より減少し、期末在庫率は16.0%に低下する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

農業市場情報システム（AMIS）「Market Monitor」（2016.6.2）によれば、2015/16年度の乾季作（11月～翌年4月）の作柄は不良のまま、収穫がほぼ終了した。エルニーニョ現象の影響により作期を通じて降雨に恵まれず、水不足や病害による被害が発生したため。また現在、2016/17年度の主要作（雨季作、6～12月）の作付け作業が順調に進展している。

【貿易情報・その他】

AMIS「Market Monitor」（2016.6.2）によれば、タイ政府は大量の政府在庫米を一掃する努力を続けており、5月19日に直近の入札を実施、2016年においてこれまで累計1.5百万トンを放出。

（世界の生産量シェア 2位（2016/17年度 21.8%）
輸出量シェア 2位（2016/17年度 21.0%）

表－2 インドの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	105.5	103.5	105.0 (107.5)	-	1.4
消費量	98.2	98.5	98.6 (100.9)	-	0.1
輸出量	12.2	9.0	8.5 (7.5)	-	▲ 5.6
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	…
期末在庫量	17.8	13.8	11.7 (11.1)	0.5	▲ 15.3
期末在庫率	16.1%	12.8%	10.9% (10.3%)	0.5	▲ 1.9

(参考)

収穫面積(百万ha)	44.11	43.46	44.00 (44.00)	0.50	1.2
単収(もみt/ha)	3.59	3.57	3.58 (…)	▲ 0.04	0.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 June 2016)
IGC「Grain Market Report (26 May 2016)」

（世界の生産量シェア 6位（2016/17年度 3.5%）
輸出量シェア 1位（2016/17年度 22.2%）

表－3 タイの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	18.8	15.8	17.0 (20.2)	-	7.6
消費量	10.6	10.8	11.1 (11.2)	-	2.8
輸出量	9.8	9.8	9.0 (11.2)	-	▲ 8.2
輸入量	0.3	0.3	0.3 (0.4)	-	▲ 16.7
期末在庫量	10.6	6.1	3.2 (3.1)	-	▲ 47.0
期末在庫率	51.9%	29.5%	16.0% (13.8%)	-	▲ 13.4

(参考)

収穫面積(百万ha)	10.27	9.44	9.55 (10.70)	-	1.2
単収(もみt/ha)	2.77	2.53	2.70 (…)	-	6.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 June 2016)
IGC「Grain Market Report (26 May 2016)」

ウ ベトナム

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収がいずれも増加することから、前年度より増加し、28.5百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、21.8百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度並みの7.0百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も3.5%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

農業市場情報システム (AMIS) 「Market Monitor」 (2016. 6. 2) によれば、2015/16年度の冬春作（乾季作、北部で11月～翌年7月頃、南部で12月～翌年5月頃）の生育・収穫が進展。北部では乾季作（冬春作の第二期）の作付けが終了し、主要産地である南部では収穫が進展。

【貿易情報・その他】

国際穀物理事会 (IGC) 「Grain Market Report」 (2016. 5. 26) によれば、2016年1～3月の第一四半期の輸出量は1.6百万トンとなり、過去5年平均より6%増。乾燥が冬春作の作柄見込みに影響する中、輸出量が増加し、期末在庫量は低下。

エ 中国

【需給状況】（詳細は右表を参照）

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収がいずれも増加することから、前年度より増加し、146.5百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より減少し、145.0百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より減少し、0.3百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度並みの5.0百万トンとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率は46.8%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

国際穀物理事会 (IGC) 「Grain Market Report」 (2016. 5. 26) によれば、政府が実施した最近の調査で、播種面積が2015/16年度比0.3%拡大していたことから、2016/17年度の実産量は146.3百万トン（前年度145.7百万トン）に増加する見込み。

【貿易情報・その他】

IGC 「Grain Market Report」 (2016. 5. 26) によれば、2015年の輸入量は、2014年から変化なく4.9百万トンと、2015年の関税率割当数量5.32百万トンをわずかに下回る見込み。なお、輸入の大半は、南部の港や国境の陸路からとなっている。

世界の生産量シェア 5位 (2016/17年度 5.9%)
輸出量シェア 3位 (2016/17年度 17.3%)

表－4 ベトナムの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	28.2	28.1	28.5 (28.8)	-	1.4
消費量	22.0	21.9	21.8 (21.4)	-	▲ 0.2
輸出量	6.6	7.0	7.0 (7.8)	-	-
輸入量	0.4	0.4	0.4 (0.2)	-	-
期末在庫量	1.3	0.9	1.0 (1.7)	-	11.0
期末在庫率	4.4%	3.2%	3.5% (5.8%)	-	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.82	7.68	7.75 (7.87)	-	0.9
単収(もみt/ha)	5.76	5.85	5.88 (…)	-	0.5

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」 (10 June 2016)
IGC 「Grain Market Report (26 May 2016)」

世界の生産量シェア 1位 (2016/17年度 30.5%)
輸入量シェア 1位 (2016/17年度 13.0%)

表－5 中国の米需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	144.6	145.8	146.5 (146.3)	-	0.5
消費量	144.5	146.0	145.0 (149.3)	-	▲ 0.7
輸出量	0.4	0.4	0.3 (0.6)	-	▲ 14.3
輸入量	4.7	5.0	5.0 (5.0)	-	0.0
期末在庫量	57.4	61.9	68.1 (58.1)	-	10.0
期末在庫率	39.6%	42.3%	46.8% (38.8%)	-	4.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	30.31	30.21	30.32 (30.35)	-	0.4
単収(もみt/ha)	6.81	6.89	6.90 (…)	-	0.1

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」 (10 June 2016)
IGC 「Grain Market Report (26 May 2016)」

オ 米国

【需給状況】(詳細は右表を参照)

〈米国農務省の見通し〉

生産量は、収穫面積及び単収がいずれも増加することから、前年度より増加し、7.3百万トンとなる見込み。

消費量は、前年度より増加し、4.3百万トンとなる見込み。

輸出量は、前年度より増加し、3.6百万トンとなる見込み。

輸入量は、前年度並みとなる見込み。

期末在庫量は、前年度より増加し、期末在庫率も20.6%に上昇する見込み。

なお、前月からの予測の改訂は、2016/17年度の輸出量、輸入量でわずかに上方修正、期末在庫量でわずかに下方修正、2016/17年度の輸出量でわずかに下方修正された。結果として、期末在庫量がわずかに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

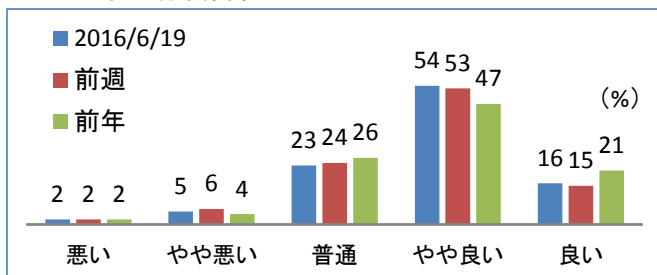
農業市場情報システム(AMIS)「Market Monitor」(2016.6.2)によれば、現在、2016/17年度の作付け作業は順調に進展している。

米国農務省(USDA)「Crop Progress」(2016.6.20)によれば、6月19日現在、主要6州の作柄評価は良いが16%、また普通以上が93%と、前年並みとなっている。(図-2)

JAXA提供の降水量図によれば、主産地の一つであるカリフォルニア州では、5月に降雨が見られる。現地調査会社によれば、西海岸の適度な降雨の影響で、春蒔きの作物の生長に良好な環境となっている。(図-3)

カリフォルニアの民間農業団体(カリフォルニアコメ委員会)によると、カリフォルニア州の米作付面積は、水不足のため、2年連続で2割つつ削減を迫られたという状況にあったが、今年は、カリフォルニア米の大産地・サクラメント渓谷での作付面積は、ほぼ前年並みとなったとのこと。(写真)

図-2 米の作柄評価



資料:USDA「Crop Progress」(2016.6.20)をもとに農林水産省で作成。

(世界の輸出量シェア 5位(2016/17年度 8.8%))

表-6 米国の米需給(市場年度:8月~翌年7月)

(単位:百万精米トン)

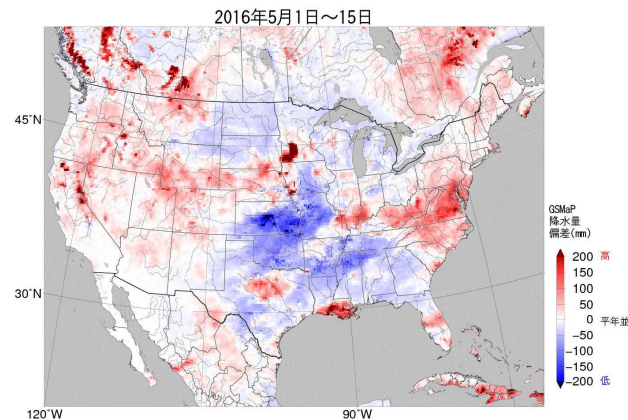
年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.1	6.1	7.3	-	20.1
消費量	4.2	3.9	4.3	-	11.4
輸出量	3.2	3.2	3.6	▲ 0.0	10.9
輸入量	0.8	0.8	0.8	-	-
期末在庫量	1.6	1.4	1.6	0.0	19.1
期末在庫率	21.1%	19.3%	20.6%	0.3	1.4

(参考)

収穫面積(百万ha)	1.19	1.04	1.23	-	18.3
単収(もみt/ha)	8.49	8.37	8.54	-	2.0

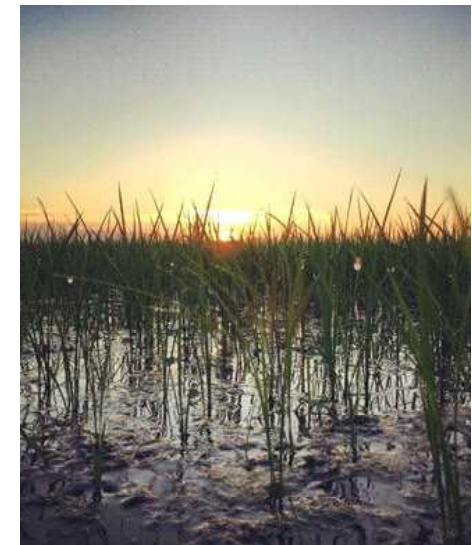
資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 June 2016)

図-3 2016年5月前半の降水量(平年比較)



資料:JAXA提供の「降水量(GSMaP)偏差」
注)赤色の地域が、平年より高い数値を示す。

写真 西海岸カリフォルニア州(2016年6月6日)
水量が十分にあるほ場



写真提供: マイケル・ボズワーズ氏

カ フィリピン

表-7 フィリピンの米需給 (市場年度: 7月~翌年6月)

(単位: 百万精米トン)

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	11.9	11.4	12.0 (11.5)	-	5.7
消費量	13.2	13.2	13.3 (13.3)	-	0.8
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸 入 量	1.8	1.6	1.5 (1.8)	-	▲ 6.3
期末在庫量	2.2	2.0	2.2 (2.2)	▲ 0.4	10.2
期末在庫率	16.7%	14.8%	16.2% (16.6%)	-	1.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.71	4.62	4.75 (4.70)	-	2.8
単収(もみt/ha)	4.02	3.90	4.01 (…)	-	2.8

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 June 2016)
IGC 「Grain Market Report (26 May 2016)」

IGC 「Grain Market Report」(2016.5.26)によれば、2015年後半に、エルニーニョ現象や台風の影響により米が不足したため大量に輸入したが、需要の増加に対応するため、更に50万トンの追加輸入承認を受け、国家食糧庁は近々、その対応を検討すると見られている。

キ インドネシア (世界の生産量シェア)

3位 (2016/17年度 7.6%)

表-8 インドネシアの米需給 (市場年度: 翌年1月~翌年12月)

(単位: 百万精米トン)

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	35.6	35.3	36.6 (37.5)	-	3.7
消費量	38.3	38.1	38.1 (39.0)	-	0.0
輸 出 量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸 入 量	1.2	2.0	1.3 (1.5)	-	▲ 37.5
期末在庫量	4.0	3.2	2.9 (1.4)	-	▲ 7.9
期末在庫率	10.3%	8.3%	7.6% (3.5%)	-	▲ 0.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	11.83	11.66	12.16 (12.11)	-	4.3
単収(もみt/ha)	4.73	4.77	4.74 (…)	-	▲ 0.6

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 June 2016)
IGC 「Grain Market Report (26 May 2016)」

AMIS 「Market Monitor」(2016.6.2)によれば、2015/16年度の雨季米の作柄は、豊富な灌漑用水と日射量に恵まれたことから良好。

IGC 「Grain Market Report」(2016.5.26)によれば、2016年の輸入量は1.8百万トンとなる見込み (2015年1.4百万トン)。

ク ブラジル

表-9 ブラジルの米需給 (市場年度: 翌年4月~翌々年3月)

(単位: 百万精米トン)

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	8.5	7.6	8.5 (8.5)	-	11.8
消費量	7.9	7.8	8.0 (8.2)	-	2.0
輸 出 量	0.9	0.8	0.8 (0.8)	-	6.7
輸 入 量	0.4	0.8	0.6 (0.7)	-	▲ 25.0
期末在庫量	0.6	0.5	0.8 (0.4)	-	66.7
期末在庫率	7.2%	5.2%	8.5% (4.2%)	-	3.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.30	2.03	2.30 (2.46)	-	13.3
単収(もみt/ha)	5.42	5.52	5.43 (…)	-	▲ 1.6

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 June 2016)
IGC 「Grain Market Report (26 May 2016)」

ブラジル食料供給公社 (CONAB) 6月報告 (2016.6.9)によれば、豪雨の影響により、2015/16年度の生産量は、2014/15年度に比べて14.3%減少し、10.7百万トン (前年度12.4百万トン) となる見込み。また、作付面積は、2014/15年度に比べ13.8%減の2.0百万ヘクタール (前年度2.3百万ヘクタール) となる見込み。

ケ 豪州

表-10 豪州の米需給 (市場年度: 翌年3月~翌々年2月)

(単位: 百万精米トン)

年 度	2014/15	2015/16 (見込み)	2016/17		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	0.5	0.2	0.4 (0.5)	-	85.2
消費量	0.4	0.4	0.4 (0.4)	-	0.0
輸 出 量	0.3	0.2	0.2 (0.2)	-	15.0
輸 入 量	0.2	0.2	0.2 (0.2)	-	▲ 16.7
期末在庫量	0.2	0.1	0.1 (0.1)	-	▲ 32.3
期末在庫率	36.9%	16.9%	10.9% (17.8%)	-	▲ 6.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.07	0.03	0.05 (0.07)	-	66.7
単収(もみt/ha)	10.20	10.00	11.12 (…)	-	11.2

資料: USDA 「Grain: World Markets and Trade」、
「PS&D」(10 June 2016)
IGC 「Grain Market Report (26 May 2016)」

豪州農業資源経済科学局 (ABARES) 「Agricultural Commodities」(2016.6.21)によれば、2016/17年度の生産量(粳ベース)は、90.6万トンへ3倍に増加(前年度30.5万トン)する見込み。理由は、作付面積が9.1万ヘクタールへ3倍に増加(前年度3.1万ヘクタール)するため。